

競 技 注 意 事 項

競技会コード【25320302】

大会は 2025 年度(公財)日本陸連競技規則ならびに本大会要項及び申し合わせ事項よって行う。

1. 練習について

- (1) 競技場内での練習は、7:10～8:10 までとする。ジャベリックボール投の練習は、選手だけで行わない。
- (2) 補助練習場はグリーン広場とする。ただし、グリーン広場は人工芝のため、スパイクの使用は禁止する。
- (3) 小学生の 50m と 100m の競技中の時に限り、競技場内のバックストレートでの練習を可とする。

2. 招集について

- (1) 招集所は、100m スタート付近の外側に設ける。
- (2) 招集開始および完了時刻は右記のとおりである。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック	競技開始30分前	競技開始15分前
跳 躍	競技開始40分前	競技開始30分前
投 て き	競技開始40分前	競技開始30分前

- (3) 選手は、当該種目の招集時刻が来たら、選手招集所に用意された出場選手一覧表に、第一回目のチェック(自分の番号を○で囲む)を招集完了時刻 5 分前までに行う。
- (4) 第 1 回目のチェックを終えた選手は、招集完了時刻 5 分前に招集所の席で待機し、係員による最終点呼を受ける。その際競技役員にアスリートビブスの番号と、スパイクを見せ、確認を受けた後、競技役員の誘導で競技場に入る。
2 種目以上(例えばトラック競技とフィールド競技)を同時刻に兼ねて出場する競技者は 2 種目同時出場、またどちらか棄権する場合には棄権届の用紙を招集所に提出すること。
- (5) 招集完了時刻に遅れた選手は当該競技種目を棄権したものとみなして処理する。
- (6) けが等で出場しない場合は、その旨を招集所の役員に伝えること。

3. 競技場への入退場

- (1) 入退場は選手通用口(100m スタート付近ゲート及びフィニッシュ付近ゲート)から行う。
- (2) 当該種目に出場する競技者以外は競技場内に立ち入ることができない。

4. 競技について

- (1) 短距離競技では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン(曲走路)を走ること。
- (4) アスリートビブスは必ずユニホームの胸・背部に確実に取りつけること。但し、跳躍種目については胸・背部のどちらでもよいが、走幅跳は必ず前面につけること。また、ユニホームはその端をランニングパンツの内側に入れること。
- (5) スパイクのピンは、トラック種目は 9mm 以下の全天候型ピン、走高跳、ジャベリックボール投は 12mm 以下の全天候型ピン、走幅跳は 9mm 以下の全天候型ピンを使用すること。
- (6) 靴底の厚さは、TR5(旧競技規則 143 条)により、フィールド種目：最大 20mm、800m 未満のトラック種目：最大 20mm、800m 以上のトラック種目：最大 25mm とする。違反があった場合、競技に参加できません。

5. 走高跳のバーの上げ方について

走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。但し、天候等によって変更することがある。

○ 男女とも 1m00(練習) 1m05 1m10 1m15 1m20 以後 5cm

上記以上のバーの上げ方と、天候その他の特殊条件によって変更する場合のバーのあげ方は、審判長が決める。

6. 用器具について

用器具は主催者の用意したものを使用すること。

8. 諸届けについて

(1)抗議は競技規則第 146 条に従って、定められた時間内に各所属団体監督が口頭で審判長に行う。

9. プログラムについて

(1)本大会のプログラムは、受付時に所属ごとに 1 部渡します。

10. その他

(1)発病・負傷に対しては応急処置以外の責任は負わない。医務室は本部に設ける。

(2)衣類および携行品の各 1 品ごとに製造業者名を付けることができるが、その大きさは面積 40 m²縦 4cm以内で 1 ケ所とする。

(3)更衣室は、グリーン広場の更衣室とする。貴重品の管理は各人が責任をもって行うこと。紛失の責任は負わない。

(4)小学生のアスリートビブスは、受付時に貸与するので、競技終了後に必ず受付に返却すること。

◎ 本競技場での練習時間割り当て

	8/3	備 考
トラック競技	7:10~8:10	1~2 レーン 中長距離種目 3~6 レーン 短距離種目 7~8 レーン ハードル
跳躍競技	7:10~8:10	
ジャベリックボール投	7:10~8:10	

◎当日の開門は 7 時 00 分とする。

◎その他練習会場

練習会場としては、プール横のグリーン広場が使用できる。ただし、投擲種目の練習はできない。またグリーン広場は人工芝のため、スパイクピンを使用するの練習は禁止する。

※注意事項

- 1.練習は各校監督のもと、指定された場所で指定された時間に行い、事故防止に十分配慮すること。
- 2.練習場には、選手・監督・コーチ以外は立ち入らないこと。
- 3.練習に使用する器具は、原則として各自持参すること。